

施策	72	自立に向けた住民組織力の向上				政策	7	自立・連携した地域づくり	
施策主管課	ムトスマちづくり推進課		課長名	田中 真	内線	5430	政策担当部長名	市民協働環境部長 竹前雅夫	
施策関係課名									
重点施策	関連計画								

1 施策の目的

目的	対象	住民組織
	意図	地域で考え、地域で活動し役割を果たせる組織となる

2 現状把握

(1) 対象指標、成果指標の状況

対象指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	見込み 28年度	
まちづくり委員会	団体	20	20	20	20	20	20	20	
成果指標 <small>成果指標の設定の考え方は別ワークシートにて整理</small>		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標 28年度
地域活動に参加している住民の割合	%	60.3	61.9	61.6	59.7	59.0	58.3	70.0	
自主的な地域づくりの参加人数(まちづくり委員会主催による活動)	人	226,169	230,256	292,042	300,178	318,947	330,913	250,000	

(2) 成果向上に向けての役割分担

主体	役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	23年度実績	24年度	25年度	26年度	目標 28年度
行政 市(国・県)	住民組織力を向上させるための支援を行う	地域活動に参加している住民の割合(%)	61.6	59.7	59.0	58.3	70
主体	役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	役割発揮の特記事項				
市民等	住民組織 住民主体で地域の課題を解決する地域おこしグループ、ボランティア団体に働きかけを行う	自主的な地域活動の回数	・まちづくり委員会調べによる自主的な活動回数8,673回(H25 8,667回) ・まちづくり委員会調べによる自主的な地域づくりの参加人数330,913人(H25 318,947人)				
	住民	住民が積極的に地域活動に参画する。					

3 平成26年度の評価結果

(1) 実施した事務事業の評価(取組みの状況評価)

計画どおり取り組めた
おおむね計画どおり
あまり取り組めなかった
達成できなかった

(2) 施策全体の評価(外部要因も含めた総合的な評価)

進んだ
ある程度進んだ
あまり進まなかった
進まなかった

4 平成26年度の取組概要と評価(成果や課題、その要因)

【施策全体の評価】

・地域の住民組織が自ら考え、地域で活動し役割を果たせる組織となるという意図で、地域活動への支援を行ってきた。成果指標の意識調査とまちづくり委員会調べによる活動量調査結果に差異はあるが、「自主的な地域づくりの参加人数」が着実に増えていることから「ある程度進んだ」と評価した。

【事務事業群テーマ別の評価】

<まちづくり委員会活動>

(地域自治組織助成事業)(地域自治組織運営事業)(飯田5地区自治振興センター運営事業)

・まちづくり委員会が取り組む、地域協働・共益的事業では、地域の特性を伸ばしたり、課題解決に向けた取り組みが進んできている。地域活動を効率的に行い、少ない経費負担、役員負担で成果を高めるために、地区間の情報共有の機会を設けた。また、住民のコミュニティ活動を支援するため、各地区まちづくり委員会が行う地域共同共益的活動等に対しパワーアップ地域交付金を交付している。

・各地区の基本構想・基本計画策定が進み、26年度は新たに2地区が作成したことにより、20地区中17地区での策定が完了した。

・地域協議会については、その本来のあり方や運営上の改善点等の情報共有・協議の機会を設けた。

<まちづくり委員会以外の活動>

(コミュニティ助成事業)

・地域自治会や町内会のコミュニティ活動を活性化させ、連帯感を高め絆を強めるために必要とされるコミュニティ設備や伝統事業継承の用具整備支援に取り組んだ。

5 上記を踏まえて、今後は、どのような対策を実施していきますか

<まちづくり委員会活動>

(地域自治組織助成事業)(地域自治組織運営事業)(飯田5地区自治振興センター運営事業)

・まちづくり委員会等が取り組む公益性の高い事業について、飯田市としてその活動を保証するために、地域協議会の機能をさらに高める。地域協議会委員の改選の年でもあり、地区における地域協議会が果たす役割の啓発や、市の政策や施策に加え公共施設や次期総合計画など、今後協議の対象となる事業の情報共有や、まちづくり委員会が事業体として効果のある活動ができるような環境整備を進める。

<まちづくり委員会以外の活動>

(コミュニティ助成事業)

・イベントや伝統芸能、交流拠点に様々な世帯や世代が集まってくる環境整備支援は大切な視点であることから、コミュニティ助成事業を通じて、企画、参加、協力することが楽しみとなるような機会づくりに繋げていく。

6 平成26年度事務事業 施策系統図

目標 施策7-2

対象
住民組織

意図
地域で考え、地域で活動し
役割を果たせる組織となる

成果指標

地域活動に参加している
住民の割合

自主的な地域づくりの
参加人数

地域活動への支援

まちづくり委員会活動

まちづくり委員会
以外の活動

事務事業

地域自治組織助成事業

地域自治組織運営事業

飯田5地区自治振興センター運営事業

コミュニティ助成事業(宝くじ)